

# 平和学習



2月24日（火）5～6時間目に平和学習（RECNA）が実施されました。  
今年度も長崎大学からPeace Caravan隊の皆様をお招きして、日本の過去・現在・  
未来についてお話をさせていただきました。

長崎県は戦争で核兵器が使用された最後の都市だという話がありました。子どもたちも幼い頃から「平和」について学習する機会が多く、いろいろな人たちから戦争に関する話を聞いたり、長崎県内にある被爆遺構を見学したりした経験があります。



今回は、戦時中の長崎市内の核兵器が使用される前後の写真を見て威力や恐ろしさを学びました。「街の様子が大きく変化している」「大きな建物がなくなっている」など、衝撃的な街の様子を目の当たりにして、驚きを隠せない生徒がいました。

現在、世界中に存在する核兵器の数や保有国について学習しました。核兵器の数を玩具（BB弾）を用いて、音で実感しました。鳴りやまないBB弾の音に核兵器の数の多さを感じ取ることができました。



これからの未来について3グループに分かれて話し合いました。「戦争がなくなしてほしい」「みんなで協力し合える社会にしたい」など多くの意見を全体で共有しました。「友達と仲良くする」など身近なことから取り組もうとする意見も出されました。